

母親として
イケメン息子に
溺愛されるのは
困っちゃうけど
悪い気はしない



黒野タイツ


わたしの息子は、
ちよつとチャラいけど
なかなかのイケメンだ

体も大きくなってなかなか逞しいし、
学校の成績も良くなっていい会社に就職できたし、
性格も明るくなって誰からも好かれるタイプ
だから女の子にもモテるし、けっぴんまん自慢の息子だ



その自慢の息子が平日の朝、

夫が仕事へ行つた3秒後…



母親であるわたしの
オマ○コを舐めてる
…まるで犬みたいに

もちろんわたしは息子の産みの母親だ
継母でも夫の後妻でもない

つまり息子は今、自分が生まれてきた
オマ○コを舐めているといふことだ

そして息子は自分の産まれてきた
オマ○コを舐めて、

夫の何倍も大きい自分のオチ○チンを
パツキバキに勃起させる



そしてそれを
産みの母親のオマ○コに挿入し、

ガンガンに腰を振って
かつて自分が生まれ育った子宮を
自分のオチ○チンの先っぽで
ガンガンに打ち付けるのだ



こんなことをほとんど毎朝している
しかも、セックスをするのは朝だけじゃない…

でも、仕方がないのだ…

だって、息子をこんなふうな
追い込んでしまったのはわたしなのだから…



子供の頃から勉強も

運動も優秀で、

しかもハンサムだった

自慢のひとり息子を

わたしは可愛がった

いつも一緒にいて、

いつも抱っこして、

何回も息子にキスをした

そんなわたしを、息子は

イヤがったことがない

だがわたしは、息子にベタベタしすぎた

息子が思春期をむかえ、多感な時期になっても
わたしは変わらなかったのだ

自分より大きくなった息子に
抱きつき、息子と腕を組んで街を歩き、
あまつさえキスまでしてた



ある日、そんな迂闊なわたしに
耐えきれなくなった息子は、

わたしに告白した

母さんが悪いんだ、
もう抑えきれないと...



そしてわたしは、犯された
実の息子に…

実の母親のわたしが、
息子の初めての相手となった





それ以来、息子とこのごんな、
不健全な関係が続いている

早くやめなぎや、と思っではいるのだが、
なかなか息子の求めを拒否することができない

だって…



息子だったら、わたしのことを
メチャクチャ愛してくれるんだもの


もう、母親というより
最愛の恋人みたい

セックスだけじゃないの

就職して自分でお金を稼ぐようになった息子は、わたしに似合うよって服とかアクセサリーとか、プレゼントをたくさんくれるし、

食事やデートにも頻繁に誘ってってくれるし、

たまには温泉にでもって、旅行にまで連れてってってくれるし…



もうぜんぜん、
わたしのことを
省みなくなつた夫とは
まったく違う…

こんなおばさんに
なつちやつたわたしを
こんなにも、女として
求めてくれるなんて

だからわたしも、
息子とわかつていながら
ひとりの男として、
息子についつい
尽くしちゃうんだ

けれど、ひとりりの男とらっても
やっぱり息子は息子

この子を妊娠し、
お腹を痛めて産んだあの日から
わたしはこの子を本当に
手塩にかけて育ててきたけれど、

そんな愛する息子に
毎日ここまで愛されるのは、
母親としてやっぱり悪い気はしない

そんなことが数年続いてきた
ある日のこと

夫に見つかった




そして1年が経った――



わたしは結局、夫と離婚して
今は最愛の息子とふたりで暮らしている

息子の子供を身籠った今となってはもう、
実の息子とセックスすることに罪悪感はない

ううん、今になって思えばもっと早く
こうしていればよかったとさえ思っている



そしてなによりも幸せなのは、
愛する息子を事実上の
ダンナさまにできたこと

今までは母親として息子に
してあげていた家事や育児を、

今度は妻として新しい夫に
してあげようと思う

奥付

タイトル：母親としてイケメン息子に
溺愛されるのは困っちゃうけど
悪い気はしない

発行・作者：黒野タイツ

- * この作品はフィクションです。
実在の人物、団体、事件、その他あらゆる名称とは一切関係ありません。
- * この作品の登場人物はすべて成人です。
- * この作品は成人指定です。未成年者が購入、閲覧、または未成年者に譲渡することを一切禁止します。
- * この作品を閲覧したことによって発生したあらゆる損害(精神的損害等も含む)に対し、当方は一切の責任を負いません。
- * この作品のすべてのコンテンツ(文章、画像等)を権利者に許可なく無断で複製、転載、インターネット上にアップロード、または閲覧、ダウンロードできる状態にすることを国内、国外を問わず一切禁止します。































